

COP13

2007/12/15 参加各国合意
朝日新聞2007/12/16朝刊から

COP13 (国連気候変動枠組み条約 第13回 締約国会議、インドネシアバリ島で開催) は2013年以降の地球温暖化対策の枠組み交渉の進め方をまとめた行程表(バリ・ロードマップ)に各国が同意し、閉幕した。

行程表の内容

2009年末のCOP15(デンマーク)での妥結を目指し、「ポスト京都」の新たな枠組みを作る。

そのための新作業部会を設置する。

新作業部会の日程は、当面、

08年3月か4月に第1回、6月に第2回、8月か9月に第3回、08年末に第4回 を開催。

作業部会では、次の4つについて検討する。

- ①排出抑制策、
- ②温暖化による途上国の被害軽減策、
- ③排出抑制や被害軽減のための技術協力
- ④資金供与や投資

COP14は08年末ポーランド、

COP15は09年末デンマークで開催。

(なお、この間、08年1月、米国主催の主要排出国会議がハワイで、08年7月には洞爺湖サミットが開かれ、地球温暖化問題についても協議される)

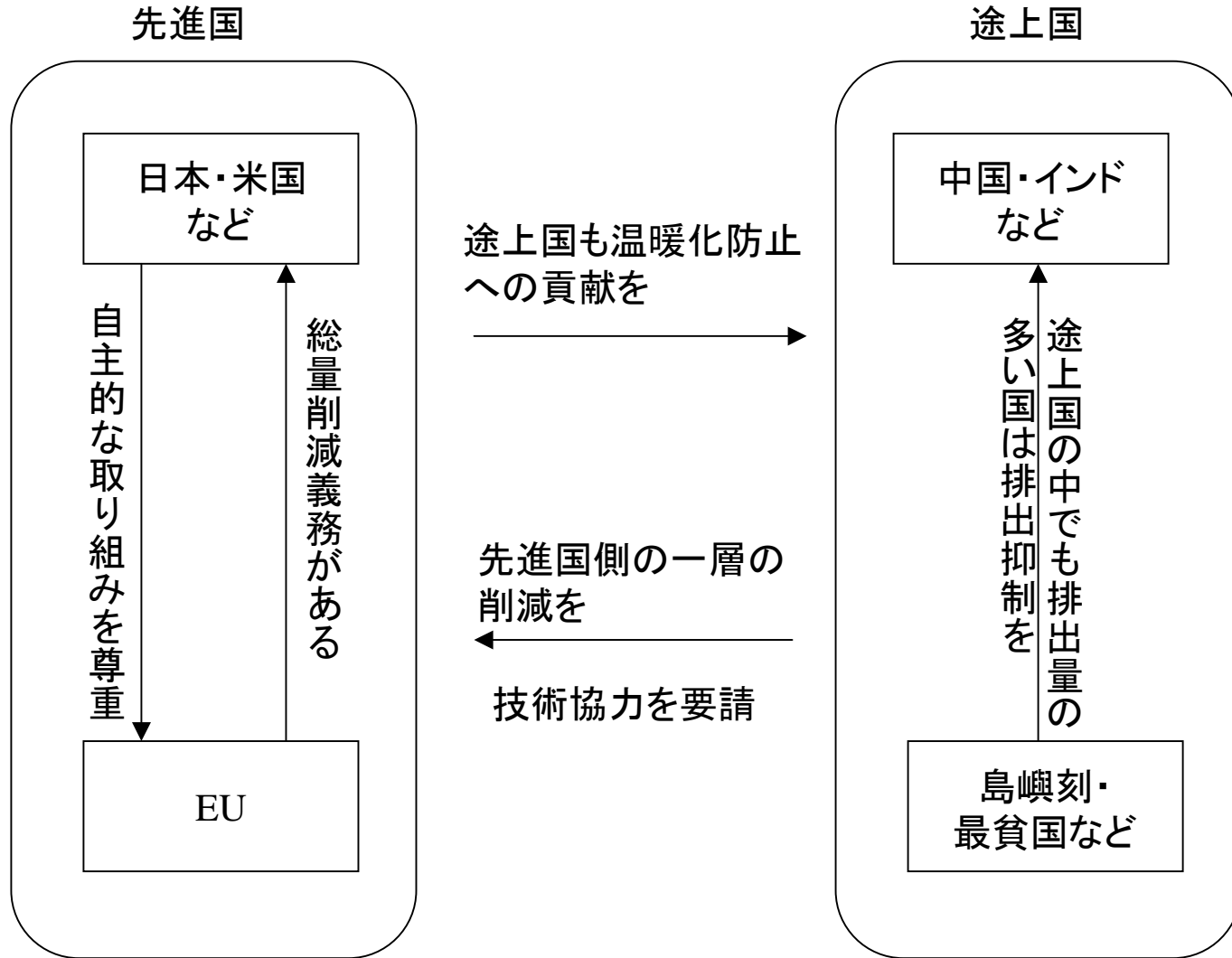
注. 数値目標については、今回は合意しなかった。ただし、京都議定書批准国による作業部会の決議には、「2020年までに90年比25～40%削減の必要を認識」、「今後10～15年以内に減少に転じさせる」、「2050年までに2000年の半分以下にする」などの数値が盛り込まれた。また、バリ・ロードマップの脚注には、IPCC報告書の該当部分が記載された。

今後のスケジュール		
時 期	温暖化関連の主な会議	バリ・ロードマップの日程
2008年1月	米国主催の主要排出国会議(ハワイ)	
3月か4月		新作業部会1回目
6月		新作業部会2回目
7月	北海道洞爺湖サミット	
8月か9月		新作業部会3回目
9月	国連主催ハイレベル会合?	
2008年末	COP14(ポーランド)	新作業部会4回目
2009年末	COP15)(デンマーク)	枠組み交渉決着?

バリ ロード
マップの要点

- ・温室効果ガスの大幅削減が必要とのIPCC報告書を認識
- ・実効性のある対策へ向けて交渉開始
- ・特別作業部会(上記新作業部会)を新設し2009年までに交渉を終えCOP15で合意
- ・すべての先進国が削減の数値目標を含む約束や行動を検討
- ・産業部門別に排出を抑えるセクター別アプローチを検討

ポスト京都に関する協議での各国の主張



先進国2グループ、途上国2グループでの色分けが鮮明になった。